

担い手増やし月間



～運営委員を増やし支部を元気にしよう～



2022年生協強化月間では、

支部運営委員ふやしを重点課題として掲げています。

期間:2022年10月～11月 目標:運営委員を1支部1名以上増やす

亀山支部では早速2名の支部委員を迎えました。

上記写真は支部委員会で新委員さんにプレゼントを手渡している様子です。



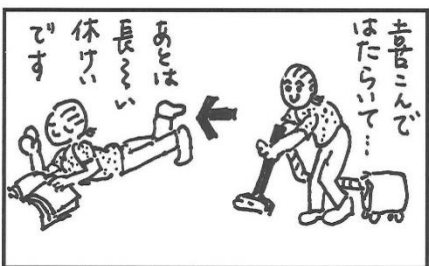
《柿の効能》栄養価の高い果物。

発がんを抑える効果があるといわれている「カロチン」や「ビタミンC」がとても豊富。風邪の予防や二日酔いにもよいそうです。柿に含まれる「タンニン」は、血管を強くして血圧を下げる効果が期待できます。

*栄養価が高いため、食べすぎには注意しましょう。

Hot.

ひといき (No.11.マンガヤヨイ)



介護を必要としている人が必要な介護を受けられない...

「介護の社会化」は一体どこへ？

介護を家族まかせにせず、社会で支えていくという

「介護の社会化」の期待を背負ってスタートした介護保険。

しかし、政府による介護サービスの削減、費用負担の引き上げなどの相次ぐ制度の見直しで、

今後もさらなるサービス削減・負担増の見直しが検討されており、

このままでは「保険あつての介護なし」という事態がいつそう広がってしまいます。

待ち受けるのは、改悪ばかり

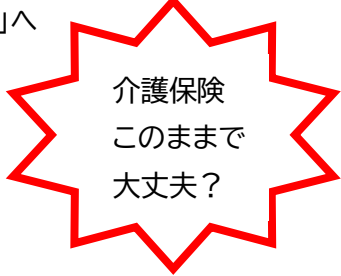
介護保険見直しの内容は、利用者・事業者にさらなる困難を押し付けるばかり

- ▲ 利用料の2割負担、3割負担の対象者を拡大
- ▲ 要介護1, 2の「生活援助」を、介護スタッフを減らし、ボランティアでも可能な「総合事業」へ

- ▲ ケアプランの有料化
- ▲ 歩行杖などの福祉用具の貸与を販売に切りかえ
- ▲ 施設の人員配置基準の引き下げ
- ▲ 介護保険料を払う人を増やす

介護する人、受ける人がともに大切にされる制度へ！

～民医連新聞より抜粋～



このところ、私たちの願っていないことが、政府の都合で強行されることが沢山あります。

一人ひとりのいのちと人権が尊重される社会にするために、おかしいと思ったことに、

声を上げ続けなければいけないのではないのでしょうか。(^-)-☆

11月の別名は霜月です。字の示す通り霜が降りる頃です。季節は着実に秋から冬へ…。そろそろ本格的な冬支度を始めましょう。

